



あらゆる機会に誘い、 自治会と協力して会員増

長崎県長崎市 楽友会^{らくゆう}

●会員数 157名（男性73名、女性84名）



長崎県長崎市

楽友会は平成18年に前会長のもとに結成され、会則等を整備、中でも組織のシステム（組織図）は各部門が機能的に活動できるよう整っています。毎月役員会を開催して、市・地区老連、会独自の活動、自治会等の連絡事項を報告します。運営委員は、活動に参加出来ない会員に市老連ニュースや文書等を配布して、その方々の動向も把握しています。

結成以来、会員が順調に増加したのは、前会長が自治会でも活動して、自治会の賛同を得ていたこと、さらに本人の人格、情熱等が大きかったことにあります。前会長は「会長が辞めた時点で解散に追い込まれるクラブが多い」と常々話されていました。このような

ことから、27年度より会長を引き継ぐことになりました。

会長に就任した年が10年目にあたることから10周年記念誌を発行、予算がなかったもので、みんなでパソコンにより手作りしました。現在は広報誌を毎月作成し、自治会の回覧板で配布してもらっています。サークル活動には、グラウンド・ゴルフ（以下GG）、太極拳、カラオケ、囲碁・将棋、すこやか体操、コース等があります。特にGG部が利用するグラウンドは、海を埋め立てた環境のいい所にあり、部員は50名に達しています。

を訪問して数人が入会

○早朝のラジオ体操仲間が入会

○新たにコーラス部を結成したことにより入会

○朝の散歩で知り合いになり入会

○自治会行事に積極的に参加して、個別に説得して入会

○GGの魅力：GGをやりたいと自発的に入会

このように地道な勧誘の取り組みが功を奏して、設立以来10年、会員を増やし続けています。

自治会の支援と互いの協力

自治会からは、若干の助成金以外にも支援いただいています。公園のトイレ掃除を自治会から請け、各サークル（女性）が交代で行い、清掃助成金の一部を会にいただいています。自治会の正副会長はじめ主だった役員は老人会に加入しています。

また、自治会の次のようなイベントには出る限り協力しています。

- ・公民館周辺の草刈りや庭木の剪定等（老人会が主に実施）
- ・ペーロン祭り：前日の浜掃除、当日の観戦（応援）、若い会員は参戦も。



新春グラウンド・ゴルフ大会後の懇親会

会員の勧誘にあたって

あらゆる機会をとらえて会をPRしていますが、例えば集会で入会を頼んでもほとんど効果はありません。また立ち話で「入ってください」と言っても、自分は老人と認めてい



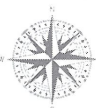
公民館築山の剪定は会員が中心

・ふれあい会（鬼火焚き）：焚き火による焼き芋、竹筒入り燗酒や自治会婦人部によるぜんざい等に舌鼓をうちます。隣の公園では子どもたちにGGを教えます。

・講話：老人向けの講話が多いこともあり、会員の参加を積極的に奨励しています。

前会長が言われた「会長の退任による老人会の解散」が、同じ地区の老人会でもおきたことを考慮して、会長を計画的に交代して引き継いでいかねばならないと思っています。優秀な後継者がいても直ちに了解いただけるものではありませんが、理解いただけるよう努力して、高齢者が充実した人生を過ごせるよう未来へ向かって会を継続していきたいと思っています。

（会長 恒任 徹）



ペーロン祭りには若い会員が参戦